

あけましておめでとうございます。冬休みいかがお過ごしでしたでしょうか。  
元気な子どもたちに会えることを楽しみにしておりました。様々な行事がある3学期、大きなものとしては「作品展」を予定しております。子どもたちの、友だちとの日々や指先の使い方、自分のイメージを形にするなど、様々な成長を「作品」を通して、保護者の皆さまと共有できましたら幸いです。引き続き、子どもたちののびのびとした表現を大事に、丁寧に進めて参ります。また、年長組への進級を見据えて、保護者の皆さまともぜひ同じ思いで進んで参りたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



(年中組担任 石澤菜々)

あけましておめでとうございます。いよいよ新しい年になり、年中組で過ごす期間も残り僅かとなりました。進級に向けて気持ちが高まる様子も見られており、いよいよ年長さんになる姿を私たちも保育をしながら楽しみに想像しています。3学期も様々な経験を経て成長していけるように心を込めて保育して参ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(年中組担任 月岡茜)

あけましておめでとうございます。3学期の作品展では、今まで子どもたちがプロジェクト保育を通して行ってきたことの集大成を保護者の皆様にご覧いただけますよう、子どもたちと協力しながら作品作りを進めて参りたいと思います。また、3学期も一人ひとりの子どもたちの思いを大切に、丁寧な保育を行って参ります。まだまだ寒い日は続きますが、体調管理に気をつけ、子どもたちとたくさん体を動かしながら遊び、楽しく過ごして参りましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(年中組担任 青木杏樹)

## 直前インフォメーション

### ○3学期の保育について

2学期までは子どもたちが新しい環境に慣れることを1番に考え、担任を固定して保育する場面もございましたが、チーム担任制ですので、3学期からは3人で担任を回して保育をいたします。

### ○作品展 2月5日(土)

作品展の製作に伴い、以下の素材中にご家庭にあるものを **1月11日(火)まで**にお持ちいただけますと幸いです。ご協力の程よろしくお願いいたします。

**必要な素材**・・・木の枝、どんぐり、松ぼっくり、葉っぱなどの自然物

牛乳パック、空き箱、ペットボトル、プリンカップなどの廃材



## 1月の目標

- ・日本の伝統的な遊びや歌に親しみ、友だちとの関わりを楽しむ
- ・様々な素材や技法に触れ、想像したり、話し合ったりしながら、表現する楽しさや最後まで作り上げる達成感を味わう



## 1月の歌紹介

子ども園で歌っている歌です。

ご家庭でもお子様と一緒に歌ってみてくださいね。

♪コンコンクシャンのうた

作詞 香山美子

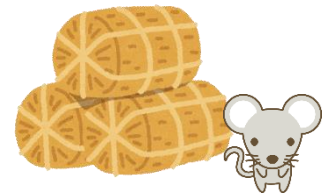
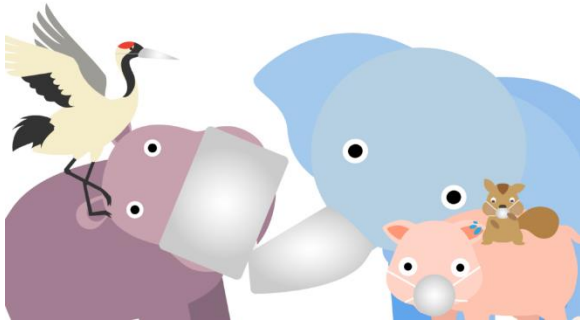
作曲 湯山昭 編曲 早川史郎

1 りすさんが マスクした ちいさいちいさい  
ちいさいちいさいマスクした コンコンコンクシャン  
2 つるさんが マスクした ほーそいほーそい  
ほーそいほーそいマスクした コンコンコンクシャン  
3 ぶうちゃんが マスクした まーるいまーるい  
まーるいまーるいマスクした コンコンコンクシャン  
4 かばさんが マスクした おおきいおおきい  
おおきいおおきいマスクした コンコンコンクシャン  
5 ぞうさんが マスクした なーがいなーがい  
なーがいなーがいマスクした コンコンコンクシャン

♪ずいずいずっころばし

作詞作曲 わらべ歌

ずいずい ずっころばし  
ごまみそ ずい  
ちゃつぽに おわれて  
トッピンシャン  
ぬけたら ドンドコショ  
たわらの ねずみが  
米くって チュー  
おとさんが 呼んでも  
おかさんが 呼んでも  
いきっこなしよ  
井戸のまわりで お茶碗かいたの だあれ



## 1月の絵本

子どもたちが興味を持っている本絵本

先生たちのおすすめの絵本を紹介いたします！

### ・「大きなかぶ」

著：A. トルストイ、画：佐藤 忠良、翻訳：内田 莉沙子

出版社：福音館書店

「うんとこしょ、どっこいしょ。それでも、かぶはぬけません」という有名なフレーズ。

子ども園でも、子どもたちが一緒に繰り返し読み、友だち同士で「大きなかぶごっこ」をしている姿も見られます。

今月の食育でも紹介しております、春の七草に出てくる「スズナ」とはカブのことですね。この機会に、ご家庭でも一緒にこのフレーズを楽しみながら読んでみてはいかがでしょうか。



## 食育について

給食の際に子どもたちに伝えていることをご紹介します。  
是非ご家庭でも行ってくださいね。



### 1月7日は「七草粥」を食べよう！

○1月7日は、七草粥を食べて、1年の健康を願う日ですね。

七草粥は、無病息災を願うために食べるとされています。その他にも、お正月のご馳走に疲れた胃腸をいたわる意味や、青菜で不足しがちな冬場の栄養補給をするという意味もあるそうです。

緑の野菜が苦手なお子様にも由来を丁寧に伝え、冬を元気に過ごせるようにと、食べるきっかけになると良いですね。

○春の七草とは？

せり・なすな・ごぎょう・はこべら・ほとけのざ・すずな・すずしろの7種類です。

なすなはぺんぺん草、すずなはかぶ、すずしろは大根のことですね。

・せり 水辺の山菜で香りがよく、食欲増進に。「競り勝つ」という意味が込められた縁起物。



・なすな 別称はぺんぺん草。江戸時代にはポピュラーな食材。「撫でて汚れを払う」という意味がある。



・ごぎょう 別称は母子草。草餅の元祖。風邪予防に使われた。お茶や天ぷらとしても食べられる。



・はこべら 目によいビタミンAが豊富で、腹痛の薬にもなった。「繁栄がはびこる」という意味がある。



・ほとけのざ 別称はタビラコ。タンポポに似ていて、食物繊維が豊富。炒め物や佃煮としても美味しい。



・すずな カブのこと。ビタミンが豊富。「神を呼ぶ鈴」という意味がある。



・すずしろ ダイコンのこと。消化を助け、風邪の予防にも良い。「汚れのない清白」という意味がある。



○お子様と一緒に覚えてみましょう！

5・7・5・7・7の短歌で「せりなすな、ごぎょうはこべら、ほとけのざ、すずなすずしろ、はるのななくさ」とリズムで覚えると楽しいですね。子どもたちはきっとすぐに覚えてしまうと思いますよ！